

# 有限会社愛成工業製作所

# 製造業における働きやすい環境構築を目指す中で、データの一元管理および活用を目指している

## 有限会社愛成工業製作所 実証結果【1/4】

### 企業概要

- 企業名  
有限会社愛成工業製作所（愛知県半田市）
- 社長  
成田 道行
- 概要  
[事業]  
精密部品製造・組み立て

#### [品目]

建築・農業・工作機械等の油圧部品、自動車、その他産業機械部品

#### [詳細]

CNC自動旋盤による複合加工(旋盤・フライス等)、センターレス研磨、カシメ加工を行っております

### デジタル化推進の背景

- 製造業における働きやすい環境構築を目指していく、という会社の方針に則って、検査の自動化や現場の情報の見える化などに取り組んでいる
- 一方、受注管理、入金管理、営業日報、障害報告などのデータがそれぞれに存在しており、一元管理・共有できていない社内データが多いため、これを一元管理・活用して業務の効率化を実現したい

### 導入ツール



- 「Excel読み込み」や「ドラッグ&ドロップ」で簡単にシステム構築ができる業務改善ツール
- 顧客管理案件や日報など幅広い用途で使用可能で、リアルタイムでの共有、情報の一元化が可能

# データの一元管理を目指しつつ、まずはkintoneという共通プラットフォーム上で色々な業務を実現できるようにし、それらアプリ間でのデータ一元管理に取り組んだ

## 有限会社愛成工業製作所 実証結果【2/4】

### モデル実証を通じて解決を目指した課題

#### 社内データの一元管理

- 製造現場に限らず、データの一元管理をしたい

### 課題解決に向けた取組内容

#### 社内業務のkintoneによるデジタル化

- 例えば受注管理、入金管理、営業日報、障害報告など、個別のツールやオフィスアプリなどで個々に作成していたものについてkintone上でアプリを作成し、実用できるかの確認を実施。  
これを通じて、kintone上でのデータ一元管理の第一歩としたい

# kintoneという汎用ツールの使い方に初めは戸惑ったが、色々使っていくうちに得手不得手がわかり、活用のスタイルが見えてきた

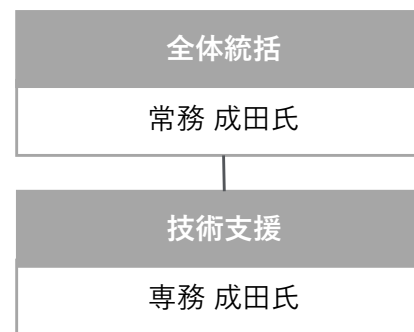
## 有限会社愛成工業製作所 実証結果【3/4】

### 実証時に感じた壁および克服のためのアクション

#### 何をどう手を付ければいいのかわからなかった

- データの一元管理にkintoneが役に立つかもしれないとは感じて、具体的に何ができるかイメージできなかった  
⇒ kintoneは自由度が高い分どのように活用するかは使う側に依存する、直感的に使えるので試してみることができる、という利点を踏まえ、とにかく色々使ってみた

### 実証体制



- 常務成田氏が主体となって実証を実施した

### 取組の成果

- Excelで作成していた製造工程の作業実績や作業ミスの報告をkintone上で報告できるようにしたことで、改めて資料を作る必要がなくなる等の形で効率化できるということが認識できた
- kintoneを使い色々な業務を手早くデジタル化（小さな業務等から試行して違ったら作り直す）していくことの有効性を認識できた

# kintoneを使い自社にとって必要なデジタル化とは何かを試行錯誤しながら考えて進めていきたい

## 有限会社愛成工業製作所 実証結果【4/4】

### 今後の課題・目標

### (デジタル化を推進する他企業への) メッセージ

#### 課題

- ある程度の業務アプリをkintoneで作った後、基幹システムとの連携が必要になってくるが、これをどのように実現するか（RPAを使うかAPIでコード書くか、等）
- 十分なスキルを有した人材採用が難しい

- 考えすぎないで、小さくでもいいから始める、やってみると、何とか形が見えてくる

#### 目標

- 他社を見学していく中で、Tier2、Tier3もデジタル化は不十分と感じた。kintone等のツールを活用しながらデジタル化を進め、他社との差別化を実現したい
- 自社デジタル化の全体像が見えてくるまではkintoneを使って色々トライアンドエラーを進め、見えてきた段階で何が自社にとって最適なツール・方法なのかを改めて考えたい
- (担当者としては) デジタルツールを使いデータを活用して、社内の情報格差を無くし、フラットな文化・人間関係を構築していきたいと考えている